

令和6年度 活動支援事業の実施団体と取り組み内容

1 特定非営利活動法人恩おくり

団体の概要	
活動開始年月	令和4年12月
登録会員数	13人（役員9人）
通常の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の居場所としての開放（恩ちゃんち、恩カフェ：週1～2回） ・多世代向けイベントの開催（月1回） ・子ども食堂、地域食堂（月1回、長期休暇中昼臨時開催） ・フードドライブ、フードパントリー（R5年度、3回試行） ・多様性や地域課題理解のための研修会や交流会（R5年度、ヤングケアラー理解促進のための座談会開催）
助成を受けた実績（直近）	令和5年度協働のまちづくり活動支援事業 135,000円
事業の概要	
事業名	食の支援拠点を広めよう！出張・協働フードパントリー実践&広報大作戦
対象	自己判断により食品の購入に負担を感じている世帯
地域の課題として考えていること	市内広い範囲及び多世代に渡り、経済的事情等の背景から食品の購入に制限のある世帯が存在している。困窮世帯は孤立や居場所の課題を併せ持っていることも多い。市内には食を通じた支援活動を行う団体が複数あるが、周知不十分等の理由で有効利用されない、ノウハウやマンパワーの課題があるなどで発展していない現状がある。さらに全国的な課題である未利用食品廃棄について江別市も例外ではない。
実施内容	市内の子ども食堂や食品配布団体の活動情報と今回の出張フードパントリーの開催情報を掲載したチラシを市内全域に配布する。その上で、市内で子ども食堂等を行う他団体の拠点に出向き、食品配布を共催する。可能な限りカフェや食堂、専門家による相談会を同時開催し、交流機会を持ち必要に応じて支援に繋がられるようにする。
実施効果	食に関する支援を行う場所が市内に多数あることを市民に伝えることができる。配布やカフェ開催場所が市内広い範囲、複数拠点となることで、市民が身近な社会資源を知るきっかけとなる。それぞれの団体と協働することで、その後各団体が独自に配布活動を行っていくきっかけとなる。未利用食品の有効活用が促進され、食ロスの更なる削減につながる。

2 こども支援ワーカーズみんなのいえ

団体の概要	
活動開始年月	2019年3月
登録会員数	14人（役員6人）
通常の活動内容	①子どもの自由な居場所づくり「プレーパーク」→年3～4回 ②中・高生の居場所「みんなの自習室」→週1～月2回 ③地域でつながる「アットホームカフェ」→月1回 ④子どもにやさしいまちづくり活動（月2回）＋イベント企画 etc ⑤放課後児童クラブ「みんなのいえ」
助成を受けた実績（直近）	なし
事業の概要	
事業名	不登校児童居場所支援と地域でつながる講演会
対象	不登校児童や生徒の保護者。講演会は大人対象。地域の大人が聞くことによって、不登校の子への理解を深める。居場所の必要性を共有し、保護者同士も孤立しないようにつながるきっかけとしたい。
地域の課題として考えていること	江別にはフリースクールがないこと。スポットケアが一か所しかないため、身近な地域に、気軽に居場所が必要だと実感しています。特に市のスポットケアは中学生向けで、小学生が行き辛いという声が多数寄せられています。また、コロナ禍以降不登校の子どもたちが増え続け孤独を感じる親子が沢山いること。
実施内容	週一回の居場所づくり「大麻ベース」 → 子&その親：子どもは自由に読書、勉強、ボードゲーム、積み木遊びなどをして過ごせる。大人はお茶を飲んでくつろいでお話しして交流できる。 講演会→保護者や地域の大人
実施効果	学校にいけない時期があっても、地域に居場所があることで人や地域とつながりが持てる。学校でも家でもないサードプレイス。また、保護者にとっても気持ちを話したり、人とつながれる場所があることで孤独にならない。

3 特定非営利活動法人つながり

団体の概要	
活動開始年月	令和5年4月3日
登録会員数	15人（役員7人）
通常の活動内容	<p>子どもたちの未来のため、親同士がつながることを意識して活動している法人です。</p> <p><活動事例></p> <p>令和4年4月おうちパン講座（場所：大麻西地区センター）</p> <p>令和4年5月母の日イベント（場所：NPO法人ゆとりの）</p> <p>令和4年10月ハロウィンイベント（場所：大麻桜木町）</p> <p>令和4年11月子どもと共にあゆむパパ講座（場所：ときの森かなでる）</p> <p>令和4年3月子どもと共にあゆむママ講座（場所：厚別区民センター）</p>
助成を受けた実績（直近）	<p>令和5年度協働のまちづくり活動支援事業</p> <p>135,000円</p>
事業の概要	
事業名	親子パン教室
対象	お母さん、お父さんとその子ども
地域の課題として考えていること	<p>家族だけで子育てしている現代。つながりが少なく、悩みを抱え、孤立している家庭も多い。全員共通の食を通じて、親同士、子供同士つながりを作っていきたい。</p>
実施内容	<p>外部講師を招き、親子パン教室を開催する。1回だけでは、つながりを作ることは難しい為、3回シリーズで行い関係性を密にする目的で実施する。赤ちゃん連れでも参加しやすいように、カーペット敷きの部屋で行う。</p>
実施効果	<p>親子パン教室を通じて、親同士がつながり、助け合い・支え合い、みんなで子育てする関係を作るきっかけになると考える。また、子どももパンを自分で作る事で、調理への関心が高まり、食育につながると考える。</p>